

# 離島航路だより vol.2

## (下関市六連島)

山口県交通政策課  
平成 26 年 5 月

今回は、日本最古級の洋式灯台のある花の島『下関市六連島』<sup>むつれじま</sup>を訪問します。

### <航路の概要>

下関駅から徒歩5分の竹崎棧橋を10時に出発します。  
船は平成9年進水の「六連丸」です。  
船舶に取り付けられたクレーンを活用し、農業用肥料や  
島内で利用する資材等も運搬する優れたものです。  
常連の釣り客も数名乗船されていました。

まず、本土と彦島に挟まれた小門海峡<sup>おど</sup>（関門海峡小瀬戸）  
を船は進んでいきます。  
甲板に立ち、海風を感じることも数分、目の前に彦島大橋  
が見えてきます。  
大橋の下をくぐると、いよいよ響灘です。



当日は晴天でしたが風が強く沖合には白波が・・・  
揺れを心配しましたが、船はほとんど揺れません！  
彦島や北九州、沖合人工島（長州出島）を眺めながら20分。  
巨大なタンクターミナルのある六連島漁港に到着です。

### <島内の様子>



六連島は周囲4kmの小さな島。  
ウォーキングマップに沿って島内を歩いてみます。  
まず港から目につくのは白色の灯台です。  
日本最古級の洋式灯台だそうです。  
現在は使われていないのでしょうか？

細い路地を抜け、狭い坂道を登ると花き栽培ハウスが広がる溶岩台地の上にです。  
さらに歩くと・・・?? 「うに」の石碑がありました。  
島は瓶詰めウニの発祥の地であり、その記念碑だそうです。

台地中央の小高い丘では、世界でも珍しい雲母玄武岩が見られます。  
世界でも3カ所しかないそうですよ。小さな無数の穴が見えますか？  
噴出した溶岩が雲母を含んだまま急速に冷やされて出来たそうです。



1時間程度で島を一周できます。  
港に戻ると、一緒に朝の便で  
六連島にやってきた釣り客が  
良型のアジを上げていました。



### 竹崎棧橋～六連島漁港

- ・1日4往復(7/25～8/16は5往復)
- ・片道大人370円、子供190円

皆さんも、離島航路を使って、  
六連島で魚釣りを満喫してみませんか!?

